

その他について



広報部鳥 けんぼん
©2018 協会けんぽ大阪支部

- I インセンティブ制度の見直しに関する検討結果について・・・・・・・・・・P.2
- II 協会けんぽの都道府県支部別医療費の分析について・・・・・・・・・・P.5
- III 新型コロナウイルスによる影響について・・・・・・・・・・P.8

I .インセンティブ制度の見直しに関する 検討結果について

インセンティブ制度の見直しに関する検討結果について

見直しの全体像

○ 協会のインセンティブ制度は、事業主及び加入者の行動変容を促すことにより、加入者が自ら予防・健康づくりに取り組むことで健康度の向上を図り、将来の医療費の適正化にも資するよう、保健事業の指標における支部間の実績の均てん化及び全体の底上げを図ることを目的とする。

評価指標の見直し

<現行>

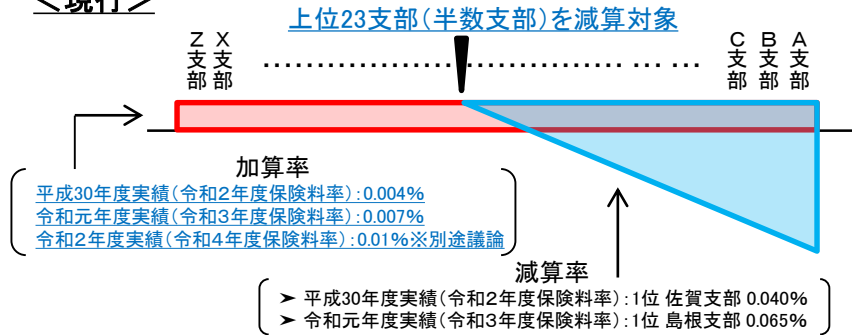
現行の評価指標	配点
指標1 特定健診等の実施率 【評価割合】 実施率:60% 実施率の対前年度上昇幅:20% 実施件数の対前年度上昇率:20%	50
指標2 特定保健指導の実施率 【評価割合】 実施率:60% 実施率の対前年度上昇幅:20% 実施件数の対前年度上昇率:20%	50
指標3 特定保健指導対象者の減少率 【評価割合】 減少率:100%	50
指標4 医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率 【評価割合】 受診率:50% 受診率の対前年度上昇幅:50%	50
指標5 後発医薬品の使用割合 【評価割合】 使用割合:50% 使用割合の対前年度上昇幅:50%	50
合計	250

<見直し後>

見直し後の評価指標	配点
指標1 特定健診等の実施率 【評価割合】 実施率:50% 実施率の対前年度上昇幅:25% 実施件数の対前年度上昇率:25%	70
指標2 特定保健指導の実施率 【評価割合】 実施率:50% 実施率の対前年度上昇幅:25% 実施件数の対前年度上昇率:25%	70
指標3 特定保健指導対象者の減少率 【評価割合】 減少率:100%	80
指標4 医療機関への受診勧奨基準において速やかに受診を要する者の医療機関受診率 【評価割合】 受診率:50% 受診率の対前年度上昇幅:50%	50
指標5 後発医薬品の使用割合 【評価割合】 使用割合:50% 使用割合の対前年度上昇幅:50%	50
合計	320

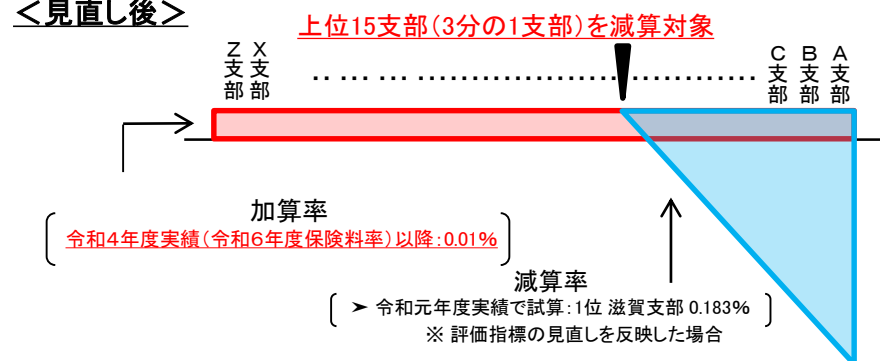
加算減算の効かせ方の見直し

<現行>



※ 上記の青字は見直し前の箇所であり、赤字は見直し後の箇所。

<見直し後>

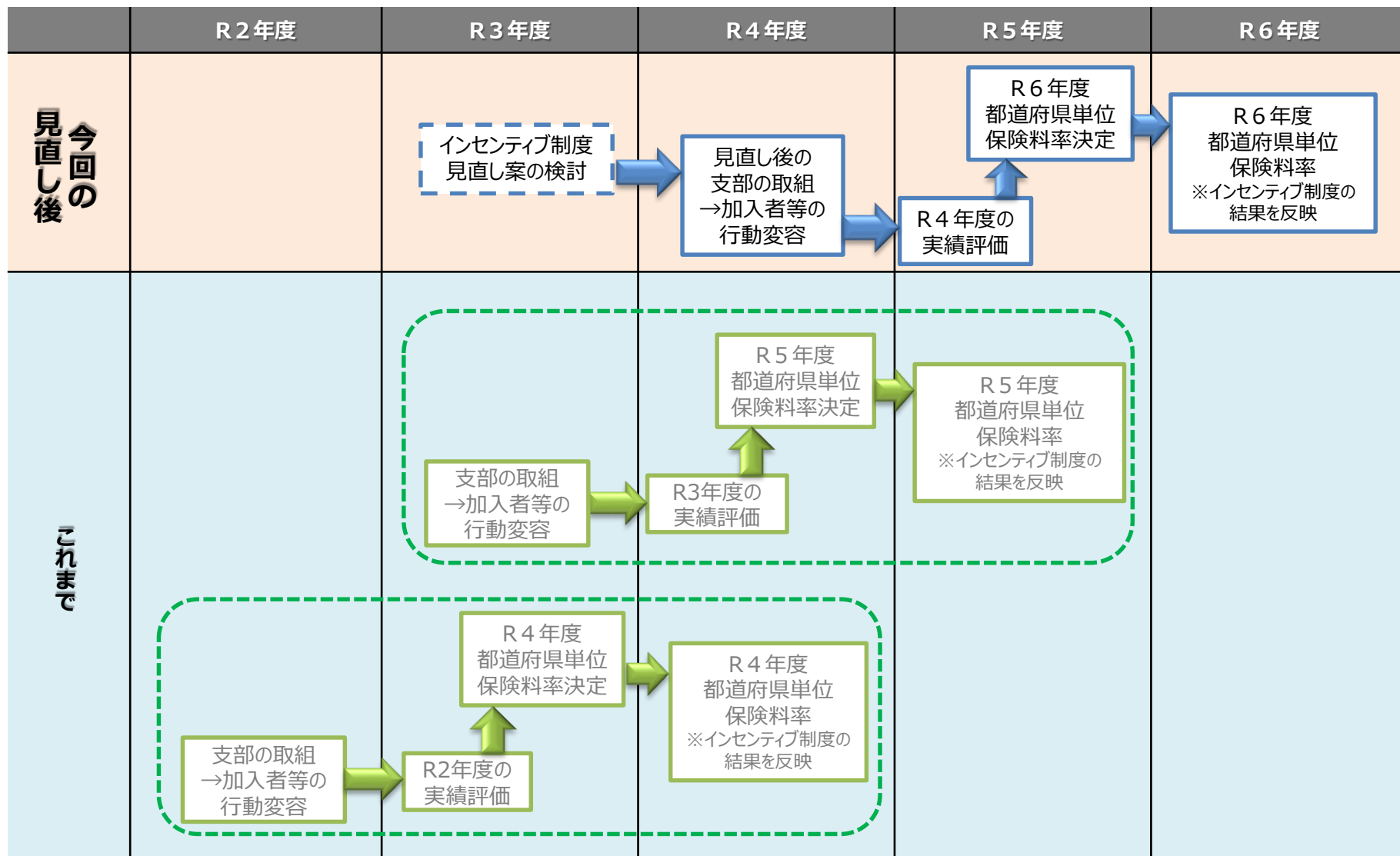


現行制度の枠組みのあり方に関する見直し

○ 現行制度の枠組みのあり方に関する見直しについては、今回の見直し後の制度運営状況、特定健診・特定保健指導の効果に係る研究成果、今後の政府による保険者インセンティブ制度に対する方針、健保・共済における後期高齢者支援金加算・減算制度の実施状況等を勘案し、3年後を目途に、改めて検討を行うこととする。

見直し後のインセンティブ制度の導入スケジュールについて

成長戦略フォローアップ等を踏まえた見直し後のインセンティブ制度は、令和4年度以降の取組に適用し、その結果を令和6年度以降の都道府県単位保険料率に反映する。



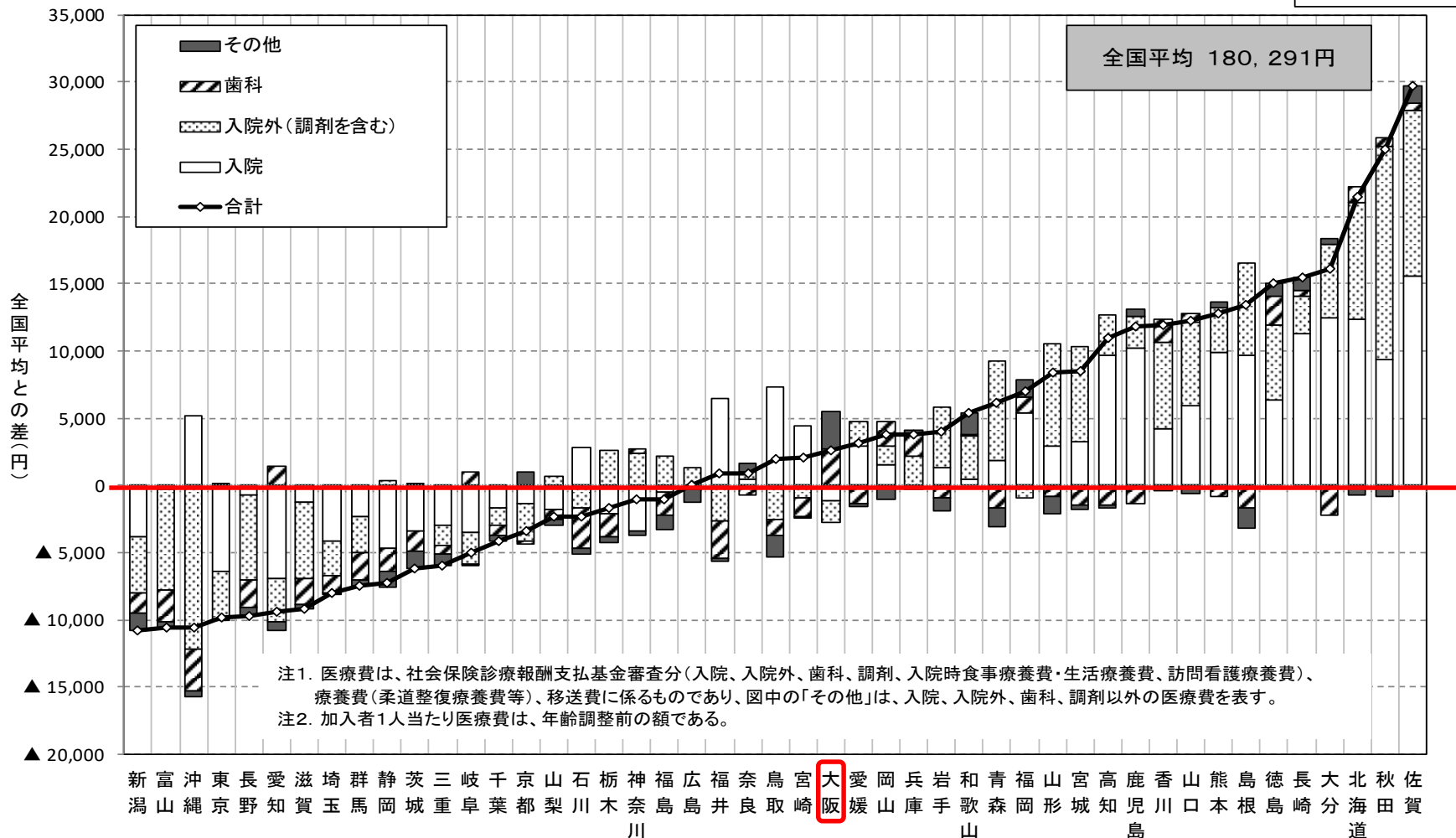
Ⅱ.協会けんぽの都道府県支部別医療費の分析について

都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(年齢調整前)

- ・加入者1人当たり医療費は都道府県支部毎に差が生じているが、これは都道府県支部毎の加入者の年齢構成に違いがあることが1つの要因としてあげられる。
- ・大阪は、柔整や鍼灸療養費などの「その他医療費」、「歯科医療費」の割合が高い。

都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(令和2年度)

年齢調整:なし
所得調整:なし

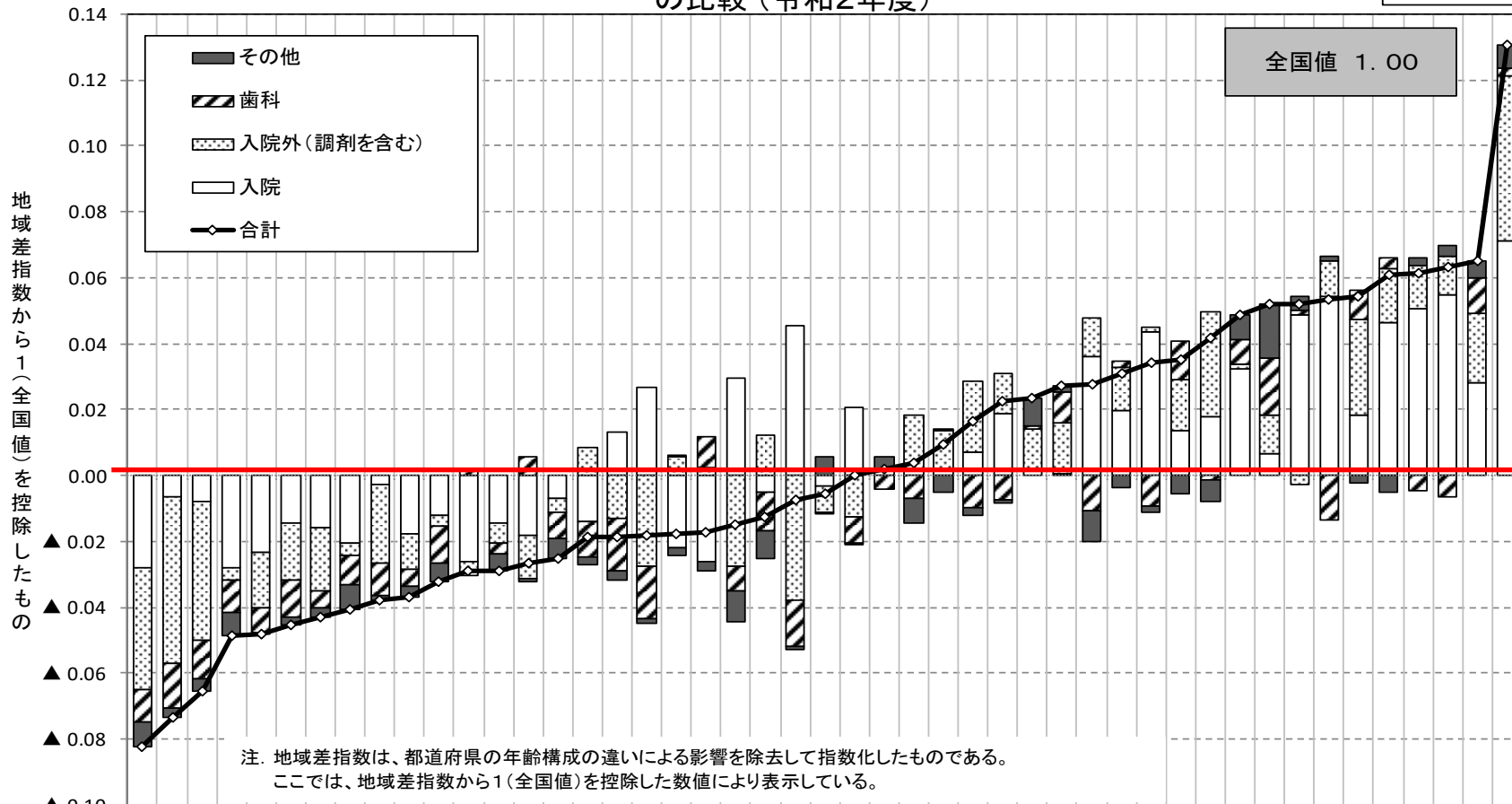


都道府県支部別加入者1人当たり医療費の状況(全国平均との差)(年齢調整後)

- ・年齢構成の違いによる影響を除去すると、若年層が多い支部(例えば沖縄県)では加入者1人当たり医療費が相対的に高くなり、高齢層が多い支部(例えば秋田県)では加入者1人当たり医療費が相対的に低くなる。
- ・大阪は、柔整や鍼灸療養費などの「その他医療費」、「歯科医療費」の割合が高い。

都道府県支部別地域差指数(入院、入院外(調剤を含む)、歯科、その他)の比較(令和2年度)

年齢調整:あり
所得調整:なし



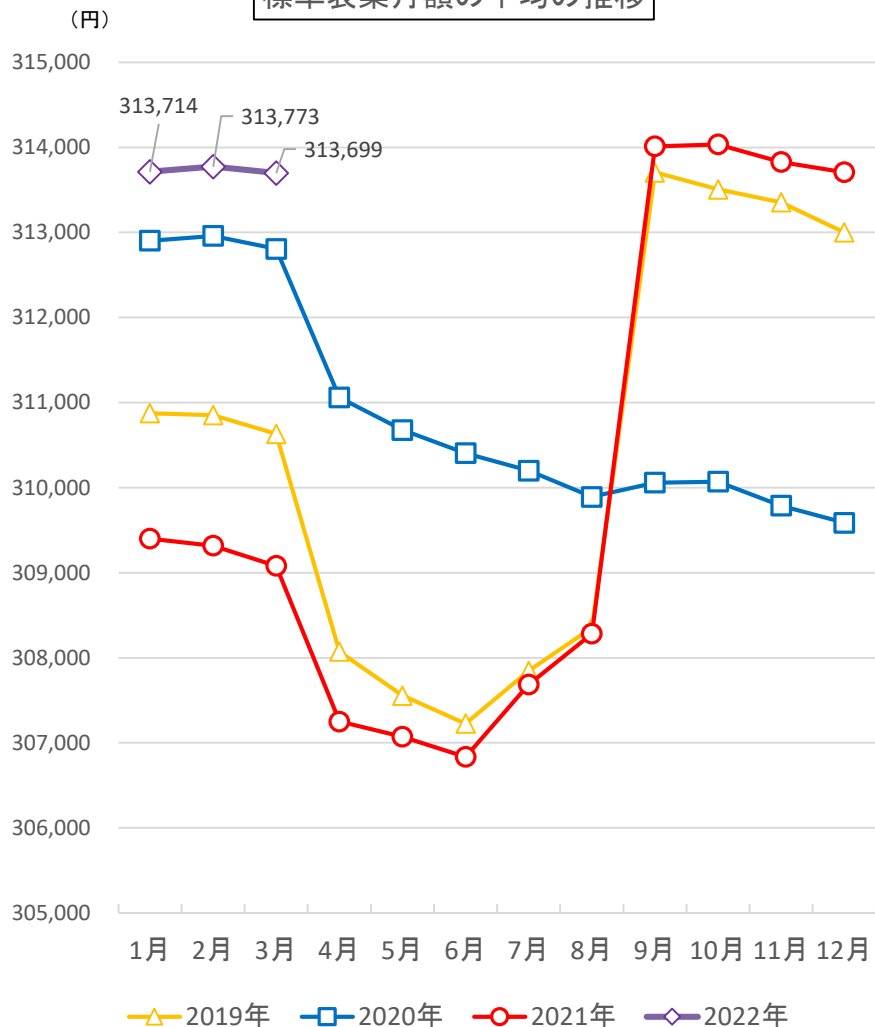
新 富 長 静 埼 群 千 茨 滋 山 福 東 三 岐 岩 栃 石 福 神 愛 鳥 青 沖 京 宮 奈 山 広 宮 愛 和 兵 島 山 高 岡 秋 福 大 長 大 香 北 熊 鹿 徳 佐
 潟 山 野 岡 玉 馬 葉 城 賀 梨 島 京 重 阜 手 木 川 井 奈 知 取 森 縄 都 崎 良 形 島 城 媛 歌 庫 根 口 知 山 田 岡 阪 崎 分 川 海 本 児 島 賀
 川 山 道 島

Ⅲ.新型コロナウイルスによる影響について 【令和2年1月～令和4年3月分】

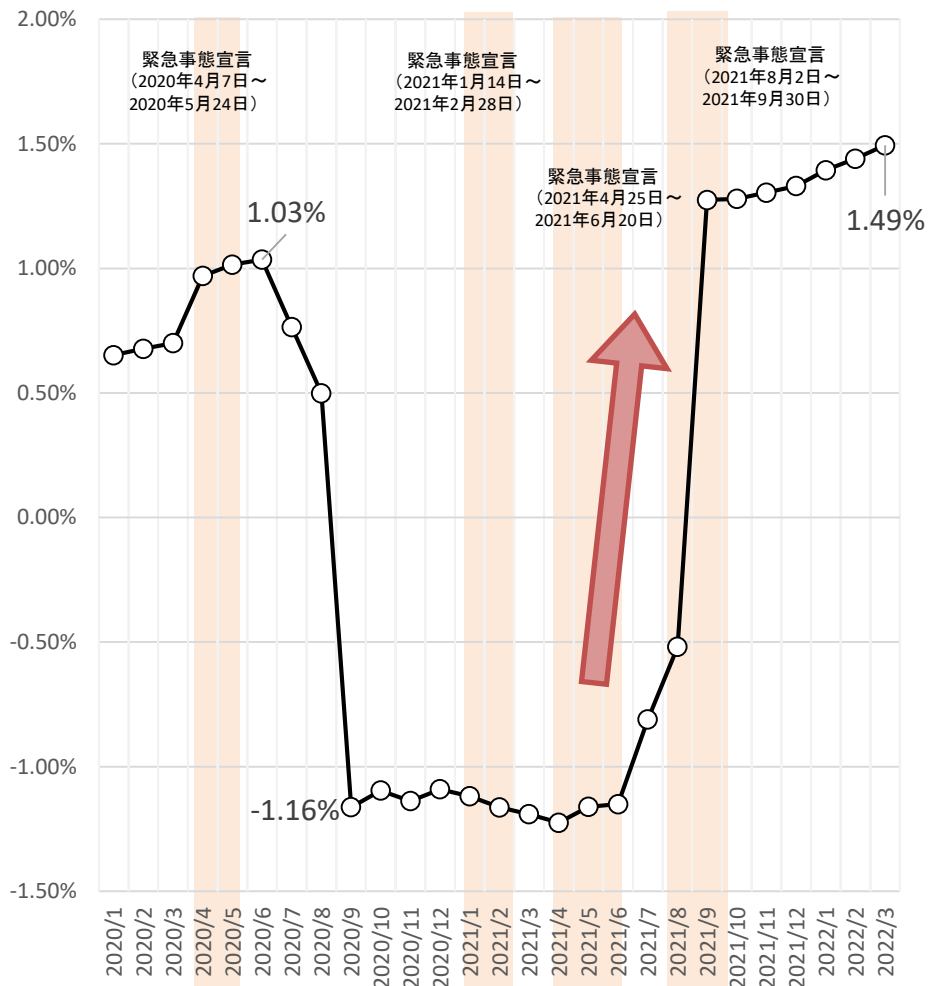
平均標準報酬月額推移

昨年度はほぼ横ばいの状況だったが、昨年度は9月に平均標準報酬月額が大幅に増加している。

標準表集月額の平均の推移



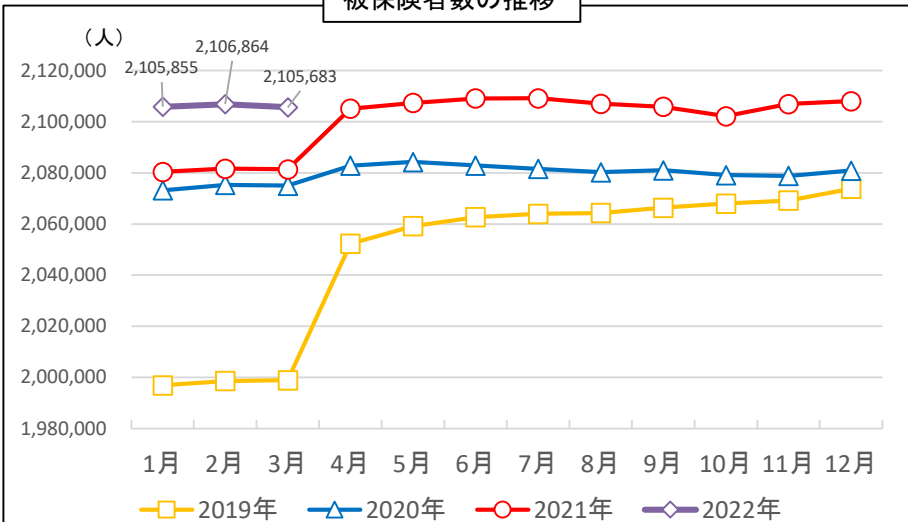
平均標準報酬月額伸び率の推移 (対前年同月比)



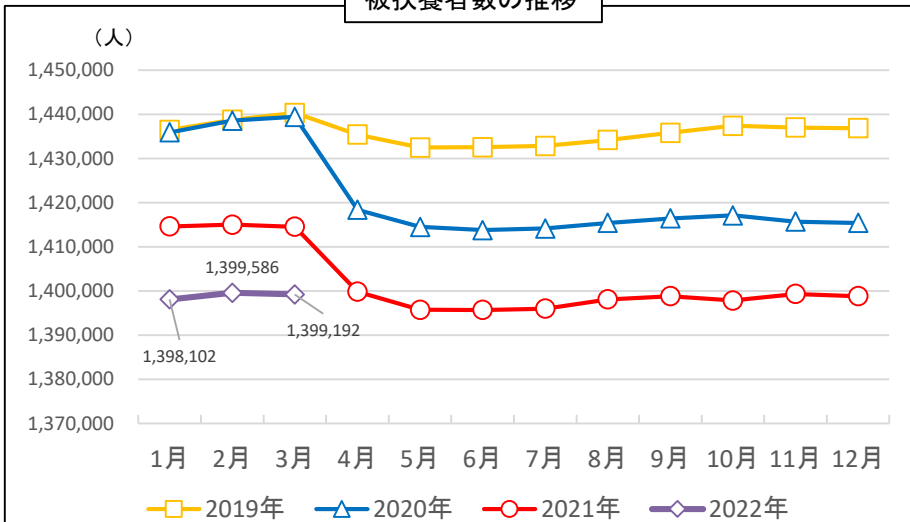
加入者数の推移

○ 被保険者及び被扶養者数については、ほぼ横ばいとなっている。

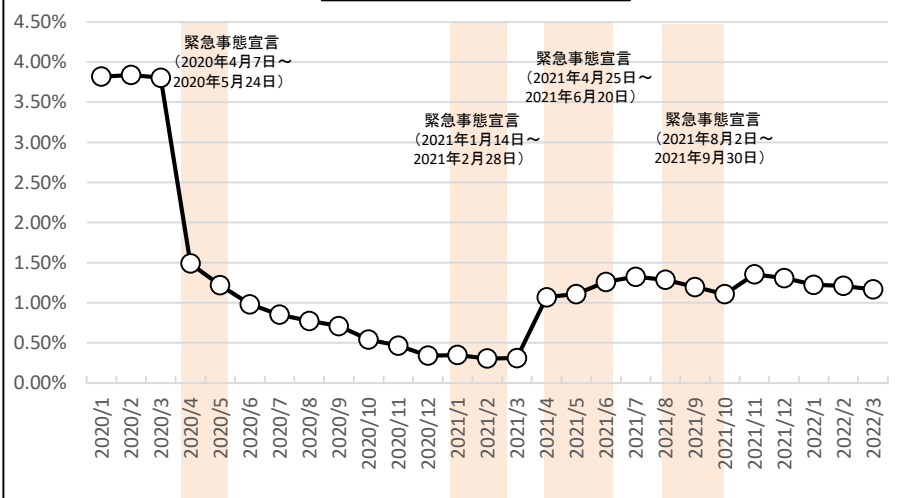
被保険者数の推移



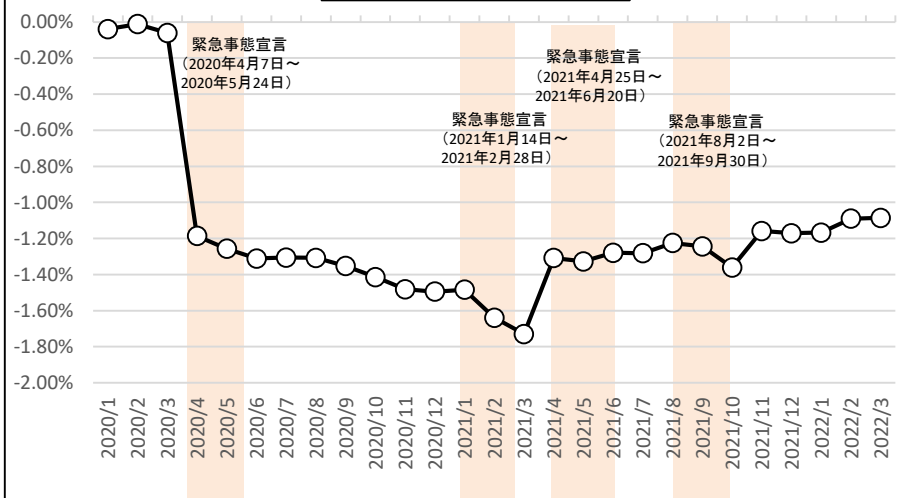
被扶養者数の推移



被保険者数伸び率の推移 (対前年同月比)



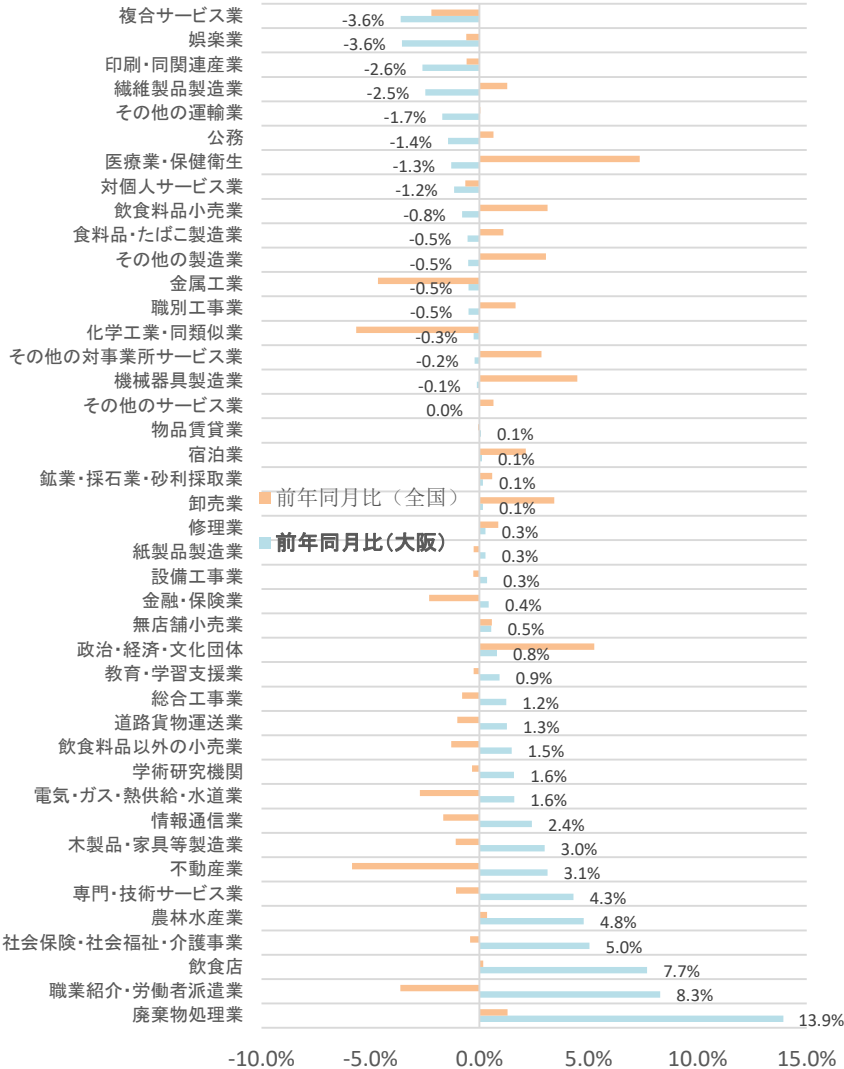
被扶養者数伸び率の推移 (対前年同月比)



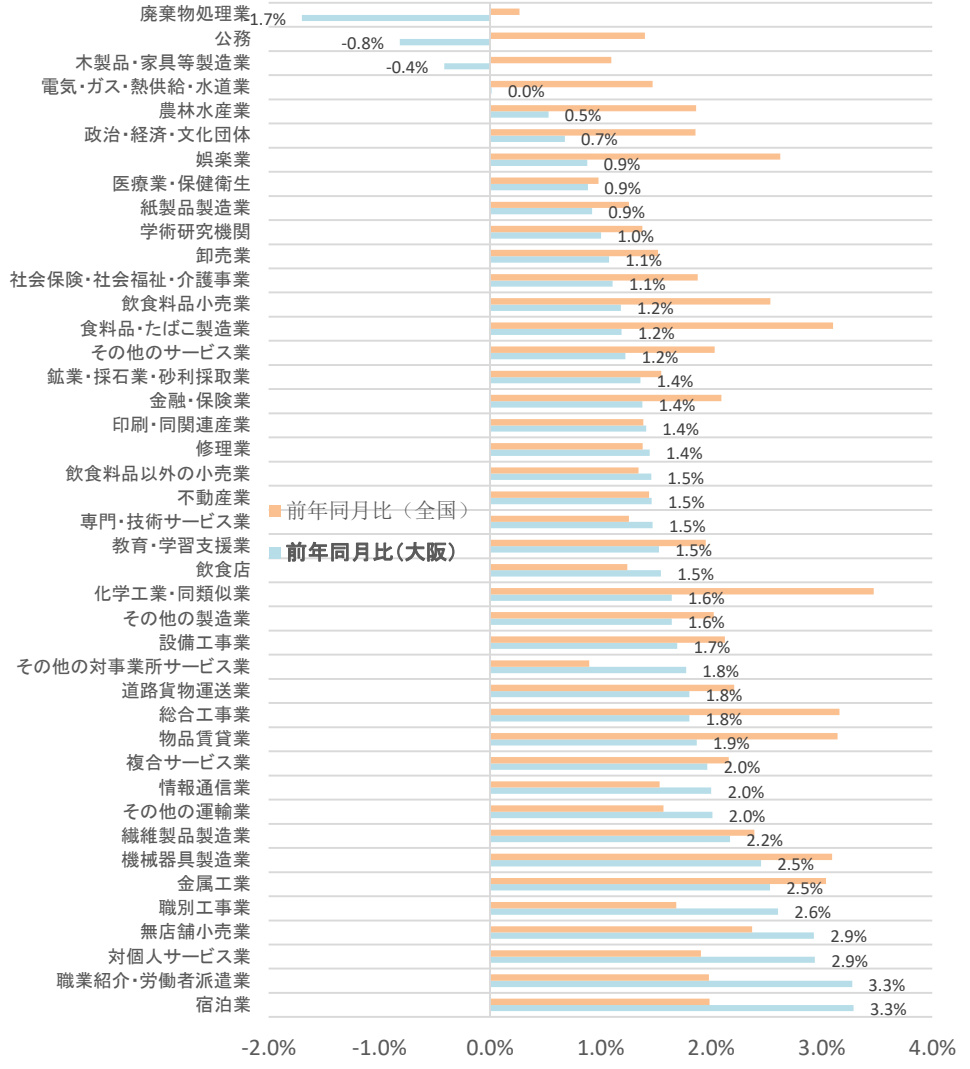
業態別伸び率(2022年3月現在:対前年同月比(2021年3月))

○ 被保険者数は依然として1/3以上の業態が減少している。ただし、標準報酬はほとんどの業態で増加している。

業態別被保険者数 対前年同月比(令和4年3月)



業態別標準報酬月額平均 対前年同月比(令和4年3月)



医療費の推移

○ 緊急事態宣言後減少していた加入者一人当たり医療費及び受診率が例年以上となり受診控えはほぼなくなったと思われる。

